

松山圏域感染症対策連携協議会の開催結果について

日 時: 令和6年3月12日(火) 18:30~19:30

場 所: 中予地方局7階大会議室 及び WEB

出席者: 23名(出席者名簿のとおり)

1 開会

2 中予保健所長 あいさつ

3 委員紹介

4 会長・副会長選出

- ・会長は、委員の互選により、愛媛大学医学部附属病院 杉山委員が選出された。
- ・副会長は、会長が松山市医師会 矢野委員、中予保健所 廣瀬委員の2名を指名した。

5 議 事

議事については、事務局から資料に沿って説明した後に意見交換を行った。

(1) 松山圏域の感染症発生状況について

- ・梅毒について、行政として対応していることは何か。
⇒保健所の無料・匿名検査で梅毒の検査を実施し、陽性判明時には、医療機関への紹介等の対応をしている。

(2) 愛媛県及び松山市の感染症予防計画(案)について

- ・意見なし

(3) 中予及び松山市保健所の健康危機対処計画(感染症編)について

- ・保健所の健康危機対処計画は医療機関でも確認する(見る)ことができるのか。
⇒地域保健法に基づき、保健所が策定する内部のマニュアルであるため公表していない。

(4) 医療措置協定について

- ・「協定に基づく措置期間中は、随時、実施状況等を調査予定」とあるが、具体的な調査容等は決まっているのか。
⇒現時点では決まっていないが、G-MISを使用した調査になると想定している。

(5) 今後の松山圏域における感染症対策について

- ・感染症対策マネージャー養成事業について、「医師会単位で養成研修会を実施」とあるが、医師会単位とはどのような意味か。
⇒コロナ禍での在宅療養者支援においては、かかりつけ医にご尽力いただいたことから、地域での感染症対策を考えるためには、各医師会の地域単位で研修会を実施したいという意味。対象の高齢者施設職員も身近な場所での開催のほうが参加しやすいと考えている。研修会の開催

にあたっては関係者のご意見等お伺いするとともに、松山圏域内の感染管理認定看護師(ICN)にもご協力をいただきながら、マネージャーを養成し、地域の感染症対策の底上げを図っていききたい。

- 地域ごとに研修内容が異なるのはよくないのではないか。
⇒ 研修会のプログラムや教材等については、共通のものを作成し平準化を図ったうえで実施したいので、是非ご意見とご協力をお願いしたい。
- 職種はどのように考えているか。
⇒ 職種を限定することは考えていない。施設内でリーダーシップ(役割)がとれる方を考えている。
- 愛媛大学も感染制御学講座を開設しているので、多職種が協力して人材を育成し、感染症対策強化を図ることが大事だと思う。

(6) その他

- 意見なし

6 閉会